

人口問題と社会現象に関する特別委員会
調査概要

平成29年3月

人口問題と社会現象に関する特別委員会

1 特別委員会設置の経緯

本市は首都近郊に位置することから人口は微増しているものの、超高齢化及び少子化は確実に進行しており、近い将来は確実に人口減少が始まるものと思われます。

そこで、少しでも高齢者が安心して暮らせる施策や安心して子供を産み育てることができる環境づくり、人口の減少傾向に対応した諸施策などを検討することを目的として、平成27年6月4日に人口問題と社会現象に関する特別委員会が設置され、付議事件が付託されました。

・付議事件

人口問題と社会現象に関することについて

- (1) 高齢化対策について
- (2) 少子化対策について
- (3) その他

2 調査の経過

No.	日付	概要
1	平成27年6月17日	1. 正副委員長の互選
		資料収集 ・本市の人口推移 ・本市の人口問題（減少）を見据えた事業について
2	9月25日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)今後の会議の進め方について ・各委員のとらえ方（考え方）を確認
3	10月27日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)将来人口推計について (2)高齢化の状況について (3)少子化の状況について 2. その他 ・次回の会議の進め方について

No.	日 付	概 要
4	12月22日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)子ども・子育て支援事業計画における年齢3区分別人口について (2)まちづくりについて ・立地適正化計画について ・市民センター構想について (3)雇用施策について 2. 今後の会議の進め方について
5	平成28年2月5日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)少子化対策について ○第四次川越市総合計画（基本構想・基本計画） 分野別計画 「第1章 子ども・子育て」について ・少子化対策の推進について ・児童福祉の推進について ・乳児期の教育・保育と学童保育の充実について ・青少年健全育成の推進について 2. 今後の会議の進め方について
6	3月11日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)少子化対策について ○第四次川越市総合計画（基本構想・基本計画） 分野別計画 「第1章 子ども・子育て」について ・少子化対策の推進について ・児童福祉の推進について ・乳児期の教育・保育と学童保育の充実について ・青少年健全育成の推進について 2. 今後の会議の進め方について

No.	日付	概要
7	6月13日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)少子化対策について ・少子化対策に関する雇用施策について 2. 今後の会議の進め方について
	7月12・13日	大阪府池田市、兵庫県明石市視察
8	8月5日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)少子化対策について ・少子化対策に関する雇用施策について (川越商工会議所との意見交換) 2. 今後の会議の進め方について
9	9月27日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)少子化対策について ・安心して出産・子育てができる環境について (NPO法人川越子育てネットワークとの意見交換) ・少子化対策に関する雇用施策について 2. 今後の会議の進め方について
10	11月7日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)高齢化対策について ・高齢者の健康長寿について (川越市保健推進員協議会との意見交換) (2)少子化対策について 2. 今後の会議の進め方について
11	12月16日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)高齢化対策について (2)少子化対策について 2. 今後の会議の進め方について
	12月20日	特別委員会として「人口問題と社会現象に関する意見」を市長へ提出

No.	日付	概要
12	平成 29 年 2 月 10 日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)高齢化対策について (2)少子化対策について 2. 次回の会議の進め方について
13	3 月 22 日	1. 人口問題と社会現象に関することについて (1)高齢化対策について (2)少子化対策について

4 特別委員会としての意見 (別添資料参照)

平成 28 年 1 2 月 2 0 日に市長へ人口問題と社会現象に関する意見を提出し、重点的に取り組む必要がある項目について、その対応を要請しました。

5 委員名簿

委員長	小野澤 康 弘
副委員長	今 野 英 子
委員	海 沼 秀 幸
委員	田 畑 たき子
委員	小 高 浩 行
委員	吉 野 郁 恵
委員	近 藤 芳 宏
委員	川 口 啓 介
委員	牛 窪 多喜男
委員	片 野 広 隆



平成28年12月20日

川越市長

川 合 善 明 様

人口問題と社会現象

に関する特別委員会

委員長 小野澤 康 弘



人口問題と社会現象に関する意見の提出について

市議会では、平成27年6月に人口問題と社会現象に関する特別委員会を設置し、これまでの間、付議事件である高齢化対策について及び少子化対策について調査を行ってまいりました。

本市の将来人口推計、高齢化・少子化の状況、雇用施策、総合計画、立地適正化計画、市民センター構想等について、高齢化対策及び少子化対策の観点から、本市の現状について調査を進めてまいりました。

調査を進める中で、高齢化対策については、高齢者の健康長寿を中心に、少子化対策については、子育て支援を中心に調査をすることといたしました。

次に、関係団体からの意見聴取としまして、高齢化対策については、川越市保健推進員協議会から意見を聴取し、少子化対策については、川越商工会議所及びNPO法人川越子育てネットワークからの意見聴取を行いました。

また、子育て支援における先進自治体である大阪府池田市及び兵庫県明石市の視察を実施いたしました。

以上のとおり調査を行い、本委員会として意見を集約した結果、重点的に取り組む必要がある項目は下記のとおりとなりましたので、その対応について要請いたします。

記

1 高齢化対策について

- いきいきサロン等の高齢者の居場所づくりの推進を図ること。
- 高齢者の移動手段の確保を図ること。
- 健康診断の受診率の向上を図ること。
- 市民の健康に対する意識を高める取り組みを図ること。
- 世代間交流の促進を図ること。
- 健康増進のため、各種体操の普及・推進を図ること。

2 少子化対策について

- 保育所、公園、児童館の整備の促進を図ること。
- 多子世帯への軽減制度や養育費に対する補助制度などの創設を図ること。
- 送迎保育ステーションの設置を図ること。
- 休日保育の充実を図ること。
- 結婚・出産・育児と続く切れ目のないサポート体制の充実を図ること。
- つどいの広場を含めた市の子育て施設の質の均一化を図ること。
- ホームスタート事業への支援を図ること。
- 多世代住宅への補助制度の拡充と創設を図ること。
- 子育て世代の母親を中心とした考え方に配慮した対応を図ること。
- 産官学の連携や職住近接等による定住促進を図ること。
- 子育てしやすい環境整備を推進し、「子育てするなら川越市」等のPRによる定住促進を図ること。